

自主財源わずか6.4%の小さな町…



杉本博文池田町長

町長に質問しても課長が答弁！

議会軽視とは心外と声を上げ

池田町議会の「9月定例会」本会議が9月20日、午後1時30分から町役場3階の議場において開催された。本会議には池田町議会議員8人、全員が出席。理事者側は、杉本博文町長、溝口淳副町長、内藤徳博教育長の三役に教育委員会事務局課長ら答弁に立つ各課の課長が顔を揃える。

最初に、杉本町長が施策方針および提案理由を説明。例年の敬老会は中止する。代替案として対象者全員に御馳走券を配布する。

次に新庁舎・新図書館の建設において最近の物価高騰、人件費の上昇さらには建設費の2024年問題など事業費の上振れの懸念が高まっている

7期連続、杉本町政26年目の池田町。9月定例会の本会議において丸石議員が「議会を余り軽視しないでいただきたい」と述べている最中、杉本町長が「議会軽視なんて心外だ」と声を上げた。役場幹部から職員まで町長の言いなり。これは長期政権の弊害の何物でもない。人口2300人の小さな町は持続可能か？

次に、宇野邦弘議員が一般質問に立ち、①そばの郷の駐車場の確保など池田屋周辺の土地の活用計画について町の考えは。かざら橋の案内はあるが小さい。ぜひ案内板の工夫を求め。②ダム建設関連について現在立派な道路が建設中だが、なぜ道路が一本なのか。湛水によって水没する大量の杉材を活用すべきだ。国、ダム事務所に求めてほしい。③マイナンバーカードと健康保険証との紐づけはどれだけか。マイナー保険証の使用実態や誤った事例は出ていないのか。マイナー保険証

ことから規模の見直し、設備の見直しを行い、コスト抑制を図るよう指示した。着工時期は当初の予定から遅れが生じる。次に鋭意工事が進んでいる「道のオアシス フォーシーズンテラス」における飲食スペースのサービステラ提供プランについて年内を目途に、町内事業所をはじめとした営業提案を求め対応を実施したいと述べた。

次に本年度一般会計補正予算の追加や令和4年度決算概要など7議案が提案され、4件の報告があった。

特集 長期政権の弊害?!

杉本町長26年目聞く耳持たず

議会軽視の理事者軍団

若き町のリーダーも高齢者に!



宇野邦弘議員

の廃止を町は考えないのか。④インボイス制度導入を機に廃業する業者が4割という調査もある。町の対応、現状、町長の見解を。⑤これまで何

度も求めている学校給食無償化について町として全国の実態をどう把握しているのか。以前の議会答弁で町長は「何でも無料にすればよい」と思っていない」と答えているが、学校給食についても同じ考えかの5点を質問した。

マイナンバーについて答弁に立った佐野住民務課長の第一声。「まず、マイナンバーカードに関する登録申請者のアンケート調査は町の代表メ

ールに送られてきており、他の多くの案内や問い合わせなどのメールに埋もれていて、確認時には期限が切れていたため開いていない。メールを見なかった自己の職務怠慢を謝罪もせず「代表メールに送信した議員が悪い」と言わんばかり。溝口副町長は薄ら笑いを浮かべている。

学校給食無償化について飯田教育委員会事務局課長が「引き続き負担をお願いしたい」と答えたため、宇野議員は再度、「町長の『何でも無料にすればよい』と『何でも無料にすればよい』と答えているのか。学校給食は税ではないのか」と質すと、杉本町長は「税の基本からしても何もかも無料にするのは、私は良い政策とは思わない。給食は運営している者としては税である。負担金だから無料にせよ」というのは納得いかない」と、滔々と持論を展開。

次に、清水龍司議員が①町